



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 リオン株式会社

コード番号 6823 URL <http://www.rion.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上清恒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員事業支援本部長 (氏名) 清水健一

TEL 042-359-7099

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,926	1.7	196	△17.4	193	△17.7	104	9.6
24年3月期第1四半期	3,863	2.0	237	41.3	234	51.2	94	24.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 83百万円 (19.6%) 24年3月期第1四半期 69百万円 (29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	9.94	9.85
24年3月期第1四半期	9.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,265	11,084	49.6
24年3月期	22,453	11,206	49.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 11,052百万円 24年3月期 11,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	8,400	4.0	700	21.4	650	17.7	320	31.7	30.55
通期	17,100	2.8	1,500	14.6	1,400	8.4	700	24.6	66.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・連結業績予想は、当社が現在入手している情報等に基づき算出しております。詳細は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	10,492,000 株	24年3月期	10,492,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	17,107 株	24年3月期	17,107 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	10,474,893 株	24年3月期1Q	10,474,937 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 追加情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要があったものの、長期化する円高や長引く欧州債務危機の影響などにより、不透明な状況が継続いたしました。

当社グループの業績につきましては、個人の消費マインドが改善したことや、医療機関での設備投資が引き続き堅調であったことなどから、前年同期と比べて増収となりました。利益面においては、新製品の発売にともない販売促進費が増加したことから、営業利益、経常利益は若干減益となったものの、四半期純利益につきましては、前年同期に発生した震災復興支援に係る特別損失が当期においては発生しなかったことなどにより増益となりました。

当第1四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	増減	増減率 (%)
売上高	3,863	3,926	63	1.7
営業利益	237	196	△41	△17.4
経常利益	234	193	△41	△17.7
四半期純利益	94	104	9	9.6

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

### (医療機器事業)

補聴器では、東日本大震災により冷え込んだ消費マインドがこの1年間で徐々に回復したことや、6月に発売した当社最上位機種の新製品(リオネットマジェス)が好評を博したことに加え、新製品発売キャンペーンで両耳装用をアピールしたことにより、予想を上回る販売台数となりました。また、医用検査機器では、聴力検査室等の設備投資意欲が継続したことなどから売上高は増加しました。

これらの結果、医療機器事業は前年同期と比べて増収増益となりました。

### (環境機器事業)

音響・振動計測器では、国内における民間企業の業績は回復しつつあるものの、依然として設備投資には慎重な傾向が見られ、主力製品である騒音計や振動計の販売が減少しました。また、海外では新型騒音計の販売が好調に推移しましたが、経済の先行き不透明感や円高の影響によって買い控え傾向が強まったことなどから売上高は減少しました。また、微粒子計測器では、医薬食品関連市場への多点システム等の販売増加に注力しましたが、OEM製品の修理契約を解約したことなどにより売上高は減少しました。

これらの結果、環境機器事業は前年同期と比べて減収減益となりました。

当第1四半期累計期間のセグメントごとの業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高			営業費用			営業利益又は 営業損失(△)		
	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
医療機器事業	2,409	2,583	174	2,222	2,331	109	186	251	65
環境機器事業	1,453	1,343	△110	1,402	1,398	△3	51	△55	△106
計	3,863	3,926	63	3,625	3,730	105	237	196	△41

## (2) 連結業績予想に関する定性的情報

医療機器事業では、補聴器において、高付加価値製品の投入による顧客満足度の向上や、両耳装用の推進等により、更に販売増加を図ってまいります。また、医用検査機器においては、引き続き医療機関における設備投資が継続するものと見込んでおり、主力のオーディオメータ等の販売増加や新製品の投入による販売拡大を目指してまいります。

環境機器事業では、音響・振動計測器において、航空機騒音測定や新エネルギー関連の環境測定などで需要が徐々に増加するものと予測しております。微粒子計測器では、海外のケミカルメーカーや素材メーカーをターゲットに液中微粒子計の販売に注力してまいります。

連結業績予想につきましては、音響・振動計測器市場において若干不透明な状況にあるものの、売上高は徐々に回復するものと見込んでいることから、現時点におきましては平成24年5月1日に公表した数値を変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,048,844	2,160,103
受取手形及び売掛金	5,295,096	4,883,177
たな卸資産	3,015,053	3,072,984
その他	759,467	820,992
貸倒引当金	△58,659	△59,244
流動資産合計	11,059,802	10,878,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,084,408	2,055,860
土地	6,184,531	6,272,129
その他(純額)	857,311	845,420
有形固定資産合計	9,126,252	9,173,410
無形固定資産		
	435,412	404,325
投資その他の資産		
その他	1,923,615	1,899,777
貸倒引当金	△91,236	△90,501
投資その他の資産合計	1,832,378	1,809,276
固定資産合計	11,394,043	11,387,011
資産合計	22,453,845	22,265,024
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,092,735	1,075,791
1年内償還予定の社債	710,000	660,000
短期借入金	872,780	808,080
未払法人税等	273,255	184,048
未払費用	194,189	868,123
賞与引当金	728,722	387,079
製品保証引当金	152,970	153,749
返品調整引当金	50,662	51,258
その他	131,426	141,186
流動負債合計	4,206,742	4,329,317
固定負債		
社債	850,000	810,000
長期借入金	1,759,915	1,584,720
退職給付引当金	2,508,817	2,538,907
その他	1,921,910	1,917,496
固定負債合計	7,040,642	6,851,124
負債合計	11,247,385	11,180,442

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284,976	1,284,976
資本剰余金	1,708,474	1,708,474
利益剰余金	4,822,400	4,717,007
自己株式	△10,094	△10,094
株主資本合計	7,805,756	7,700,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,847	66,702
土地再評価差額金	3,288,541	3,288,541
為替換算調整勘定	△2,657	△3,192
その他の包括利益累計額合計	3,372,731	3,352,051
新株予約権	27,971	32,167
純資産合計	11,206,460	11,084,582
負債純資産合計	22,453,845	22,265,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,863,008	3,926,972
売上原価	1,869,164	1,911,469
売上総利益	1,993,844	2,015,503
販売費及び一般管理費	1,755,925	1,818,999
営業利益	237,919	196,503
営業外収益		
受取利息	1,173	955
受取配当金	5,361	5,797
受取家賃	7,297	7,434
出資持分利益	6,990	—
受取保険金	3,550	8,756
その他	6,009	2,301
営業外収益合計	30,382	25,245
営業外費用		
支払利息	15,272	11,952
貸倒引当金繰入額	8,767	5,912
その他	9,501	10,603
営業外費用合計	33,540	28,467
経常利益	234,761	193,282
特別損失		
固定資産除却損	3,562	2,704
固定資産売却損	—	151
投資有価証券評価損	735	83
災害による損失	37,933	—
特別損失合計	42,231	2,939
税金等調整前四半期純利益	192,529	190,342
法人税、住民税及び事業税	198,607	191,237
法人税等調整額	△101,060	△104,999
法人税等合計	97,547	86,237
少数株主損益調整前四半期純利益	94,982	104,104
四半期純利益	94,982	104,104



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	94,982	104,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,180	△20,145
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	△534
その他の包括利益合計	△25,222	△20,680
四半期包括利益	69,760	83,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,760	83,424
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,409,575	1,453,433	3,863,008	—	3,863,008
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,409,575	1,453,433	3,863,008	—	3,863,008
セグメント利益	186,859	51,060	237,919	—	237,919

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,583,684	1,343,288	3,926,972	—	3,926,972
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,583,684	1,343,288	3,926,972	—	3,926,972
セグメント利益 又は損失(△)	251,881	△55,378	196,503	—	196,503

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

平成24年3月13日開催の当社取締役会決議により、連結子会社であるリオン計測器販売(株)は本年3月31日をもって営業を停止し、4月に開設した当社東日本営業所(さいたま市南区)に業務を移管しております。なお、同社は5月10日付で解散決議を行い、現在清算手続中であります。